

第 63 回日本農村生活研究大会 in 千葉

プ ロ グ ラ ム

期 日：平成 27 年 10 月 10 日（土） 12:45～17:50

11 日（日） 9:30～16:00

会 場：千葉大学園芸学部：千葉県松戸市

★ シンポジウム 10 日（土） 13:10～16:40

会場：千葉大学園芸学部戸定が丘 100 周年記念ホール

『グローバル時代におけるパートナーシップ経営』

座 長： 納口るり子氏（筑波大学）

報告者： 篠塚のり氏（有限会社 リーフファームみのり 千葉県多古町 施設園芸）

内山昌子氏（有限会社 ジェリービーンズ 千葉県多古町 養豚・加工業）

吉田義明氏（千葉大学）

コメンテーター： 片倉和人氏（農と人とくらし研究センター/愛知大学）

★ラウンドテーブル① 11 日（日） 13:00～15:30 会場：戸定が丘 100 周年記念ホール

「観光農業と生活者 南房総地域の取り組み」

コーディネーター：川名瑞枝氏（千葉県安房農業事務所）

話題提供者：北見和美氏（南房総市 「くすの木」）

須藤陽子氏（館山市 （株）須藤牧場）

コメント：佐藤奨平氏（日本大学）

★ラウンドテーブル② 11 日（日） 13:00～15:30 会場：D 棟 102 室

「都市農業と都市住民 東葛地域の取り組み」

コーディネーター：大原桃氏（千葉県印旛農業事務所）

話題提供者：海老原進氏（白井市 えびちゃん農園）

平野代一氏（船橋市 ひらの農園）

コメント：飯塚里恵子氏（千葉農村地域文化研究所）

主 催：日 本 農 村 生 活 学 会

後 援：千 葉 県

【第1日 10月10日（土）】 会場：千葉大学園芸学部戸定が丘100周年記念ホール他
一般受付 12:00～

大会総合司会：高野美奈子（千葉県千葉農業事務所）

(1) 開会式 12:45～13:00

開催県ご挨拶：千葉県農林水産部次長：中野裕三郎氏

学会長挨拶およびテーマ開示：安倍澄子会長

(2) シンポジウム 13:10～16:40

『グローバル時代におけるパートナーシップ経営』

座長：納口るり子氏（筑波大学）

報告者：篠塚のり氏（有限会社 リーフファームみのり 千葉県多古町
施設園芸）

内山昌子氏（有限会社 ジェリービーンズ 千葉県多古町 養
豚・加工業）

吉田義明氏（千葉大学）

コメンテーター：片倉和人氏（農と人とくらし研究センター/愛知大学）

総合討論 15:40～16:40

近年の農業・農村の変化は著しく、中でもグローバル化に対応する企業的経営が社会的にも農業内部としても強く求められている面がある。このような企業的経営では、その多くは家族経営から出発しているが、事業の多角化等により組織を複数管理し、外国人労働者も含めた多様な雇用者の労務管理等経営管理業務も複雑化している。グローバル化に対応した農業経営展開においては、家族や夫婦間のパートナーシップの持ち方など、これまでにない経営と生活面での対応も必要となっている。

そこで今回の研究大会シンポジウムでは、グローバル経済下において、家族を基本単位とした農業経営が多様な労働力の雇用管理も含めた条件変化に対応しながら、地域のなかで企業的経営を展開する条件について、家族や経営内の役割分担などのパートナーシップ、経営と生活のバランスなどの視点から接近を試みる。また、その際の視野には、これまで一般的な農業形態としてあり続けてきている家族経営も含め、家族経営と企業的経営との経営様式、生活、地域関係等の違い等についても考えてみたい。

農業経営者や支援組織関係者、研究者、行政の担当者など様々な立場の関係者からの報告をもとに議論したい。

(2) 学会賞授与式 16:40～17:00

(3) 総会 17:00～17:50

(4) 情報交流会 18:00～20:00 会場：千葉大学園芸学部生協食堂

【第2日 10月11日(日)】 会場：千葉大学園芸学部戸定が丘100周年記念ホール他

(1) 一般報告(9:30~11:30)

A会場(9:30~11:30) 会場：園芸学部戸定が丘100周年記念ホール

1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

A-1 座長:川手 督也(日本大学)

- ① 農村の女性参画 じわり進む ~日本農業新聞「女の階段」愛読者の会アンケートから~
日本農業新聞 菅野 有花
- ② 三陸漁村の生業と暮らし
:多様性、変わったものと変わらないもの
東京農業大学 吉野 馨子
- ③ 都市の里山開発における農業者と市民の立場
-東京都稲城市南山地区の土地利用の変遷と土地区画整理事業-
明治大学大学院 菊池 和美

A-2 座長:中村 貴子(京都府立大学)

- ④ 安房酪農乳業史の地域資源化マネジメント
日本大学 佐藤 奨平
- ⑤ 成熟期における食に関する農村起業の発展の方向性
-6次産業化論からローカルフードシステム論へ-
日本大学((独)日本学術振興会特別研究員PD) 澤野 久美
- ⑥ 国内における新たなCSAの取り組みと普及に向けた展望
農研機構農村工学研究所 唐崎 卓也

B会場(9:30~11:30) 会場：園芸学部D棟1階102室

1人20分(報告15分 質疑応答5分を目安に)

B-1 座長:高木 茂(NTC インターナショナル株式会社)

- ① トンガ王国における食生活の変容と伝統的食料資源を活用した生活改善の可能性
東京農業大学 杉原 たまえ
岩本 純明
- ② タイ北部山岳少数民族アカ族女性への食品加工技術支援と課題
昭和女子大学 粕谷 美砂子
元京都府中丹西農業改良普及センター 乾 多津子

B-2 座長:原 珠里(東京農業大学)

- ③ ナミビア北部農村における女性農民の世帯内役割
-ジェンダー視点からの分析-

龍谷大学 甲斐田 きよみ
西川 芳昭

- ④ 生活改良普及員の活動比較
:パラグアイと日本における現地調査報告

玉川大学 太田 美帆

B-3 座長:市田 知子(明治大学)

- ⑤ 農業法人従業員の仕事と家庭・育児の両立に関する分析
-三重県の農業法人従業員を対象に-

三重県農業研究所 飯場 聡子

- ⑥ 合併後の中山間集落維持における女性起業の可能性
-宇和島市御楨地区での実践より

愛媛大学地域創成研究センター 佐藤 亮子

(2) 昼食 11:30~13:00 : 場所等は当日ご案内いたします。

2日目につきましては、お弁当を1個500円にて予約販売を行います。

必ず予約が必要ですので、参加申し込みの際に、お弁当の必要・不要もお返事下さい。

(3) ラウンドテーブル 13:00~15:30 会場 : 戸定が丘 100 周年記念ホール、D 棟 102 室

★ラウンドテーブル① 11 日 (日) 13:00~15:30 会場 : 戸定が丘 100 周年記念ホール

「観光農業と生活者 南房総地域の取り組み」

コーディネーター : 川名瑞枝氏 (千葉県安房農業事務所)

話題提供者 : 北見和美氏 (南房総市 「くすの木」)

須藤陽子氏 (館山市 (株) 須藤牧場)

コメント : 佐藤奨平氏 (日本大学)

★ラウンドテーブル② 11 日 (日) 13:00~15:30 会場 : D 棟 102 室

「都市農業と都市住民 東葛地域の取り組み」

コーディネーター : 大原桃氏 (千葉県印旛農業事務所)

話題提供者 : 海老原進氏 (白井市 えびちゃん農園)

平野代一氏 (船橋市 ひらの農園)

コメント : 飯塚里恵子氏 (千葉農村地域文化研究所)

(4) ラウンドテーブル総括 (15:30~16:00) 会場 : 戸定が丘 100 周年記念ホール

(5) 閉会式 (16:00 ~) 会場 : 戸定が丘 100 周年記念ホール



○大会参加費等について

・参加費（要旨代を含む）	日本農村生活学会会員	4,000円
	非会員	6,000円
	学生会員（含非会員）	2,000円
	要旨のみ	2,000円
	情報交流会	4,000円



<参加申し込み方法と申し込み先>

申し込み方法

別紙の申込書に記入のうえ、**10月5日(月)**までに下記宛先へ FAX または電子メールでお送り下さい。事務局からの返信をもって申し込み受付とさせていただきます。

大会参加費は大会当日、受付にてお支払い下さい。領収書について宛先等のご指定がある方は、申込書にその旨ご記入下さい。なお、当日申込みによる参加も可能です。2日目のみ、お弁当の予約販売をします。松戸駅周辺には昼食をとれる場所が多数ありますが、昼休みの時間も限られているので、弁当もご利用下さい。ただし、予約いただいた方に限りです。お茶付き1個500円です。

申し込み先

日本農村生活学会 2015 千葉大会事務局 千葉大学園芸学部食料資源経済学科 西山研究室 内

住所 千葉県松戸市松戸 648

FAX 047-308-8720 Email rurallife2015chiba@gmail.com

<大会に関する問い合わせ先>

千葉大学園芸学部食料資源経済学科 2015 千葉大会事務局 西山末真

住所 千葉県松戸市松戸 648

TEL 047-308-8950 FAX 047-308-8720 Email : mima@faculty.chiba-u.jp

<宿泊に関して>大学周辺には宿泊施設がありませんので、東京都内（上野駅周辺、東京駅周辺など）、柏市内で各自お申し込みください。

<千葉大学園芸学部松戸キャンパスまでの交通アクセスと駐車場の利用について>

<電車の方>

常磐線・千代田線 松戸駅東口から徒歩約15分。詳細は、下記の地図を参照ください。

<車利用の方>

- ・ 三郷方面(高速)から 三郷インターから国道6号へ。国道6号松戸隧道交差点を右折し、国道464号へ。右折直後の「千葉大学園芸学部」の看板ある所を左折。
- ・ 東京方面から 国道6号松戸隧道交差点を右折し、国道464号へ。右折直後の「千葉大学園芸学部」の看板ある所を左折。
- ・ 柏方面から 国道6号松戸隧道交差点を左折し、国道464号へ。「千葉大学園芸学部」の看板のある所を左折。
- ・ 市川方面から 県道市川原木線二十世紀が丘交差点より2つ目の信号を右折。最初の信号を再度右折。陸橋を渡って「千葉大学園芸学部」の看板のある所を右折。

<駐車場の利用について>

キャンパス内にある駐車場が利用可能です。無料ですが、利用の際は大会当日受付まで

お申し出ください。臨時駐車許可証を発行します。



[OBJ]

参加申込先 FAX: 047-308-8720 (2015 千葉大会事務局)
E-mail: rurallife2015chiba@gmail.com

第 63 回日本農村生活研究大会 in 千葉 参加申込書

氏 名	(フリガナ)		
会員区分 (マルをつけて下さい)	会員 ・ 非会員 ・ 学生会員 (非会員含む) * <small>*大学・大学院等を卒業されてから就職後、再びご入学されている方は、学生とみなされませんのでご了承ください。</small> (4,000円) (6,000円) (2,000円)		
所 属 (勤務先) 又は (学校名)			
都道府県名			
連絡先住所 (楷書にて わかりやすく お書き下さい)	自宅 ・ 勤務先 (勤務先の名称も、ご記入ください) 〒 TEL _____ FAX _____		
E-mail (お持ちの方)			
10月10日 (土) 大会第 1 日	参加 ・ 不参加	備考 (申込者からのご連絡事項)	事務局記入欄
10月10日 (土) 情報交流会	参加 ・ 不参加		
10月11日 (日) 大会第 2 日	参加 ・ 不参加		
10月11日 (日) お弁当+お茶 500円	必要 ・ 不要		

- ・ 該当欄に必ずご記入下さい。また、該当する項目を○で囲んでください。
- ・ 連絡先住所を勤務先となさる方は、住所に機関名もご記入下さい。
- ・ ご記入いただいた情報のうち、お名前とご所属のみ参加者名簿に記載させていただきますのでご了承願います。

10/5 (月) 正午までに FAX か電子メールにてお申し込みください (返信メールがない場合は、念のため再度ご連絡願います)。*参加費は、当日受付にて承ります (振込不可)。*なお、当日参加も可能です。弁当については、予約いただいた方みの販売になります。